



(上)前列左から、獅子型水差、七宝杯、筆置、朱硯、後列左から瓢筆型水差、端渓硯*
(下)左から臨机*、印「觀潮樓主」「森氏高湛」※、ジョッキ、筆洗、鷗外自画素焼皿、双六盤*。*コウ写真工房、※カロワークス撮影

目次

巻頭コラム「土屋文明生誕130年没後30年」小笠原祐治(群馬県立土屋文明記念文学館 特別館長)／展示報告／活動報告／コラム「新型コロナとアキレス腱—『森鷗外宛書簡集3(うーお)編』発刊に寄せて—」酒井敏(監修者・中京大学教授)／ショップ便り／展示のお知らせ 特別展「觀潮樓の逸品—鷗外に愛されたものたち」／展示会場から／これからの催しもの／カフェ便り／主な寄贈図書一覧／2021年度前期開館カレンダー／編集後記



2022年に鷗外没後100年・生誕160年を迎えます!

コラム

新型コロナとアキレス腱

——『森鷗外宛書簡集3(うーお)編』発刊に寄せて——

酒井 敏 (監修者・中京大学教授)

ほぼ半年遅れて、ようやく『森鷗外宛書簡集3(うーお)編』が刊行された。鷗外忌(命日)・

七月九日の予定が誕生日(一月十九日)にずれただが、何か因縁めいているように思う。

原稿が全て揃い、もう一回集まって調整すれば、締切を守って入稿できる。収録書簡数は三分の二弱なのに、翻刻と書簡注が

『森鷗外宛書簡集2』とほぼ同じボリュームなのが唯一の不安。そんな状態だった昨年の三月半ば、突然、アキレス腱を断裂して入院を余儀なくされた。

それでも、集まりの日程変更や原稿の修正箇所など、メールをやり取りして調整がつき、この進捗状況なら予定通りに刊行できること安心。しかし、幸か不幸か、さらなる災厄に見舞われる——新型コロナウィルスの流行である。緊急事態宣言も出され、先行きは一気に不透明になつた。

記念館も印刷所も、高校も大学も、当たり前の「日常」を奪われ、原稿提出や校正の戻し、集まつての読み合わせや確認作業、全てについて計画が立てられない。入院生も感染予防で次第に窮屈になる中、未だに原稿はまず鉛筆で書く私が、あれもこれもパソコンで片付けられるようになつていった。思わず進歩、災いが転じた恩恵と言えよう。

ちょうど出身地の岐阜で『鷗外全集』未収録の書簡が見つかって大久保栄や名古屋

大学に由縁の深い小口忠太が含まれている

かと思うと、内田魯庵が口絵と同じ絵柄の

絵葉書で訳書『二人画工』(シェンケヴィツチ著)の献呈を知らせていましたと分かつたり、

鶴澤芳松の葉書に出てきた文章を読んでみたら鷗外研究の新知見が次々と芋づる式に出てきたり、もともと本集の編集作業はワクワクするような出会いと発見の連続だった。だから書簡注が膨らんでしまつたのである。

果たして不安は的中、許容量に収めるた

めに大幅なシェイプ——「校正」や「推敲」のレベルに止まらない言い換えや削除——を強いた。同時に思わずミスの訂正や新たな発見もでき、完成度を高めたのだが、充分な時間が確保できたのは、想定外の足踏みのおかげである。ここでも災いは転じて福となつたと言えよう。

影響の大きさで並べれば、新型コロナとアキレス腱。見てきたように、この二つの災厄と本集との関わりは、正に「幸か不幸か」と言うしかない。言わば、本集は災厄を通過儀礼として再生したのである。誕生日の刊行となつたのは「再生」にふさわしい良い因縁、広く読者に迎えられる予兆ではあるまい。その期待が実現するよう祈りつつ、三年に亘つて共に翻刻に勤しんだ名古屋チームと森鷗外記念館の皆さんに感謝申し上げて、拙文の結びとしたい。

『森鷗外宛書簡集3』発売中!
知友から鷗外に寄せられた書簡の翻刻を紹介する『文京区立森鷗外記念館蔵 森鷗外宛書簡集3(うーお)編』が、鷗外の誕生日である1月19日に発売となりました。発信人の頭文字が「う」、「え」、「お」にあたる27名(全92通)の鷗外宛書簡の翻刻や略歴を収録しています。分野、年齢、鷗外との関係性もさまざまな発信人ですが、これらの書簡からは鷗外の人柄や仕事、交流の幅広さを知ることができます。

『洋行』と「立身出世」
『大久保栄からの葉書』
『鷗外一族から愛された才人の言葉』
『鷗外は大魚を逸したか』
『怪人・長田秋濤の間の悪さについて』

○解説(執筆者五十音順)

小倉 肇(愛知淑徳大学教授)
『鷗外宛書簡に見る出会いのドラマI』

『魯庵・紅葉と鷗外の文人的交響』
『鷗外宛書簡に見る出会いのドラマII』

『鷗外・悟堂の心理的共鳴』



ショッピング便り

○解説(執筆者五十音順)

小倉 肇(愛知淑徳大学教授)
『鷗外宛書簡に見る出会いのドラマI』

『魯庵・紅葉と鷗外の文人的交響』
『鷗外宛書簡に見る出会いのドラマII』

『鷗外・悟堂の心理的共鳴』

『怪人・長田秋濤の間の悪さについて』

『鷗外は大魚を逸したか』

『怪人・長田秋濤の間の悪さについて』

『鷗外一族から愛された才人の言葉』

展示会場から

扁額「賓和閣」

【100019】

材質 墨、朱、木

春の特別展『観潮樓の逸品』——鷗外に愛されたものたち』(2021年4月3日)~6月27日※詳細5頁参照では、観潮樓の玄間にかけられた扁額「賓和閣」から展覧会がはじまります。

森於菟(鷗外長男)『砂に書かれた記憶』(『鷗外』1号、森鷗外記念会、1965年10月)には、「韓國から帰つた某軍医より贈られたものだと私は父から教へられた」とあります。



「賓和閣」の家でお客さんが仲好くするのだ。うちのものは始終んくわしてゐるから丁度好いだろうと語ったと回想されています。そして、於菟は『鷗外日記』の明治43(1910)年2月13日に次の「一文を見つけ、滅多にない親子らしい会話の記憶が夢でも幻でもないことを知つた」と記しています。



「十三日(日)。〈中略〉會議に來たる衛成病院長、軍医部員概皆刺を通す。篠尾明済に笠天居の三字、荒木鹿六に自我作古の四字を書きて贈る。荒木予に朝鮮人の書ける額を贈る。〈後略〉」

『鷗外日記』には様々な人へ揮毫の記録を見ることができます。その中でもこの日は、荒木鹿六は、その経歴は詳らかではありませんが、当館に残る荒木から鷗外宛の署中見舞い(明治39年8月19日消印)が旅順から送られていることや(文京区立森鷗外記念館所蔵)『鷗外日記』に「北青に在る荒木鹿六端川石もて作れる匣を贈る」(明治42年2月23日)、「新に現職を去りたる谷軍次郎(旅順)

荒木鹿六(都城)に慰問の書を与ふ」(明治44年11月29日)と見ることができます。しかし、いずれも鷗外にこの額を贈つた理由の手がありにはつながりません。また、額には落款もなく、由来もよくわかつていません。

「賓和閣」はいうなれば、於菟の記憶と鷗外の記録とともに語り継がれてきた特別な逸品なのです。

「賓和閣」について於菟の回想は、漢学に造詣の深い二人の友人から「それは貴和閣でせう。和を貴ぶといふのには出典もある」と指摘されたと締めくづられます。このこ

とについては、高橋陽一氏が詳しく検証さ

れ(森鷗外の遺墨)「鷗外」90号、森鷗外記念会、2012年1月)浮き彫りされた文字の正しくは「貴和閣」と考えられています。

明治43年は、8月に韓國併合条約調印を施された年です。額に込められたメッセー

ジが、「論語などで知られる「用和為貴(和

ヲ用テ貴ント為ス)」であったことは想像に難くありません。

明治40年代の鷗外は、口語体小説『半日』(「スバル」1年3号、明治42年3月)をもつて小説創作に本格的に復帰し、次々と作品を発表しています。また自邸での歌会開催(明治40年3月)、文部省美術展覧会(文展)の美術審査委員会委員、慶應義塾大学部文学科刷新への協力など縦横無尽な活動をしています。陸軍軍医總監、陸軍省醫務局長という立場、韓國併合や大逆事件などの社会情勢を考えると、日記に記された以上の来客があつたことでしょう。次郎を2月に次男・不律を亡くし、明治42年5月に次女・杏奴、同44年2月に三男・類が誕生するなど、毎年に家族構成が変化しています。そのつかの間に交わされた親子の会話、それも家の北側と南側に分かれています。暮らしていた於菟と二人きりの状況を想像すると、「ひんわかく(賓和閣)」には父親としての鷗外のユーモアが含まれていたと思わずにはいられません。

これからのお催しもの

詳細は、チラシやHPをご覧いただけ、当館までお問い合わせください。
※要天候等やむを得ない事情により、日程・講師・内容に変更が生じる場合があります。

◆特別展関連事業

「こだわりの文具で手紙をかいてみよう」
折手紙をつくる)
「文の京ワークショップ／ふみの日イベント
「折手紙をつくる」
◆特別展関連事業
講演会
「鷗外、遺愛の品々」
日時：5月9日(日) 14時～15時30分
講師：山崎一穎氏
(森鷗外記念会顧問、跡見学園女子大学名誉教授)
会場：2階講座室
料金：無料(要本展観覧券(半券可))
(事前申込制・4月26日(月)必着・抽選)
講演会
「鷗外とたばこ～明治の文豪と嗜好品～」
日時：5月12日(土) 14時～15時30分
講師：半田昌之
(公益財団法人日本博物館会専務理事、元たばこと塩の博物館芸術部長)
会場：2階講座室
料金：無料(要当日の展示観覧券(半券可))
(事前申込制・5月28日(金)必着・抽選)
展示解説
日時：5月5日、26日、6月16日
会場：2階講座室
料金：無料(要当日の展示観覧券(半券可))
(事前申込制・先着15名)
※右記に加え、会期中スペシャルギャラリー
トークを配信予定。

◆上記イベントの申込方法◆
事前申込制のイベントは、各申込締切日までに下記のいずれかの方法でお申込みください。申込みは、1通につき1名様(はがき・Eメールどちらかお一人様1通まで)、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。申込締切後1週間以内に抽選結果をお知らせします。

①往復はがき 往信に参加希望プログラム名・日程・氏名(ふりがな)・住所・電話番号、返信用には、住所・氏名を明記の上、〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4 文京区立森鷗外記念館イミテまでご応募ください。※日中に連絡が取れる電話番号をご記入ください。

②Eメール 件名に参加希望プログラム名・日程・本文に氏名(ふりがな)・Eメールアドレス・電話番号を明記の上、bmk-event@moriogai-kinenkan.jpまでご応募ください。※参加可否の連絡をEメールでいたします。当館からのEメールが受信可能なEメールアドレスをご記入ください。受信制限が設定されている場合、当館からのEメールを受け取れないことがありますので、あらかじめご確認のうえ送信ください。※日中に連絡が取れる電話番号もしくはEメールアドレスをご記入ください。

【ご提供いただきました個人情報は、個人情報保護法に基づき適切に管理し、当該プログラム以外の使用はいたしません。】

〈館内にて新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っております〉

新型コロナウイルスの感染状況によっては、開催や内容の変更をさせていただく場合がございます。
ご来館の際は、事前にHPをご覧いただくか、お電話でお問い合わせください。

○体調のすぐれない方の来館はご遠慮ください。
○咳工チケット、マスク着用、手洗い、手指の消毒にご協力ください。



モリキネカフエ便り

モリキネカフエの看板メニューであるブレートやシュラウフエには、季節や旬に合わせた食材を使用した、自家製のピクルスやブレザーブを添えてあります。

2月から春に向けて、シュラウフエに添える自家製ブレザーブが、いちごやラズベリー、ブルーベリーを使つたペリーのブレザーブに変わりました。赤くて可愛らしい見た目ですが、スパイスや赤ワインを使った大人向きの味わいです。ペリーの酸味がバニラアイスの甘さによく合ひ、大きめの果肉が食べ応えのあるひと品です。時々で変わるものリキネカフエの味をお楽しみください。

4月から始まる特別展では、展示に合わせた限定メニューや登場します。展示資料の一つ、「鷗外自画素焼皿」に描かれたみみずくをモチーフにしたカフェオレをご用意します。モリキネカフエの新たな逸品をご堪能ください。

主な寄贈図書一覧 (2020年1月~12月)

左記の貴重な資料を文京区立森鷗外記念館に寄贈いただき誠にありがとうございました。
鷗外研究のための貴重な資料として、未永く保存・活用させていただきます。(受入日付)

【著者寄贈】
和田博文著「三越誕生！帝国のデパートと近代化の夢筑摩書房 2020年1月
小林ふみ子著「中丸宣明編好古趣味の歴史 江戸東京から見た「その時代の」文化通信」2020年6月※大塚美保著「鷗外歴史文学の「江戸」像――時間・空間の語りかたに注目して」
多田伊織著「武田昌編小島屋幸藏関連資料集」第20冊(京都人文科学研究所付属図書センター)2020年5月
新井正人著「鷗外文學の生成と変容 心理学的近代脱構築」七時社 2020年6月
木村妙子著「三木竹二 兄鷗外と明治の歌舞伎と」水声社 2020年5月
「一冊の本」第25巻第4、7、10号 朝日新聞社
多田伊織著「武田昌編小島屋幸藏関連資料集」第20冊伊藤美子著「江戸の人世界」(収録)須田喜代次著「鷗外、高蔵、そして柏亨 鷗外研究センターアート・聞く人・伊藤一郎 構成・早乙女牧人「インタビューア仙臺奈羅」五代目金屋岱仙(語る江戸・通人の世界」(収録)
「古典文学注釈と批評」第4号 東海大学注釈と批評の会編刊 2009年3月※話す人 橋本謙一、聞く人・伊藤一郎 構成・早乙女牧人「インタビューア仙臺奈羅」五代目金屋岱仙(語る江戸・通人の世界」(収録)
「國文學研究」第19-1集 2020年9月※山本亮介著「曲先」の詩学・森鷗外作詞「横浜市歌」をめぐで」
金子幸代著「鷗外 わが青春のドイツ」2020年11月
「國文學研究」第77巻第11号 2020年9月
「短歌研究」第77巻第11号 2020年9月
「歌碑銘文集」第11号 2020年9月
「A・ボト松本清張 清張生誕110年・ボト行記」2019年9月
「生誕210年記念 北九州市立松本清張記念館」2019年11月
【発行所寄贈】
「E・A・ボト松本清張 清張生誕110年・ボト行記」2020年1月
「森鷗外記念館」2020年1月
「森鷗外外事典 平川祐弘編 新曜社 2020年1月
「夢か幻か青木堂」明治・大正の頃のロマンを背く 2020年6月
「丁寧マーケティング読本 日本との文化交流史から読み解く長島要一著 丸善出版 2020年10月
「隨想森鷗外」小塩節著 青娥書房 2020年8月
ほか

晴	寒	霜	雪	雨	雷	電	日	月	火	水	木	金	土
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

『鷗外日記』明治43年2月13日の項
森鷗外記念館(津和野)蔵

2021年度前期 文京区立森鷗外記念館 開館カレンダー

4月							5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3					1					1	2	3	4	5		
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			

7月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3				
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

9月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4			
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

特別展「観潮樓の逸品——鷗外に愛されたものたち」
4月3日(土)～6月27日(日)

鷗外忌記念「遺言書」オリジナル展示
7月2日(金)～7月31日(土)

コレクション展「生誕110年 森類」(仮称)
7月2日(金)～10月3日(日)

早朝開館(9時) 休館日

開館情報は予告なく変更になる場合があります。
詳しくは当館までお問い合わせください。

編集後記

2020年度は新型コロナウイルスという脅威によって、生活において変化を強いられた一年となりました。文学館もまた、二度の緊急事態宣言や、不要不急の外出が叫ばれる中で、これまで慣習や人との接し方など、様々な面でいただけるよう工夫を凝らすことは、新型コロナウイルスが収束した後も重要なテーマです。当館では、ホームページやフェイスブックなどSNSによる情報発信を行っています。ホームページ内の一館蔵品紹介「コーナー」では、館蔵品の一部を画像と共に紹介しており、2021年3月現在で60点をご覧いただけます。また、内様子を「展示会場から」と題して紹介しています。展示資料は保護のため定期的に展示替えを行つており、常に同じ資料をご覧いただくことができません。こうした記事を週つて見ていただくことができる、インターネットの利点です。ぜひ当館のホームページやSNSをご活用いただき、「おうちミュージアム」をお楽しみください。



文京区立
森鷗外記念館
Mori Ogai Memorial Museum

交通案内

- 電車をご利用の場合
 - 東京メトロ千代田線「千駄木」駅 1番出口 徒歩5分
 - 東京メトロ南北線「本駒込」駅 1番出口 徒歩10分
 - 都営三田線「白山」駅 A3番出口 徒歩15分
 - JR線・京成線「日暮里」駅 南口 徒歩15分

バスをご利用の場合

- 都バス 草63番系統「千駄木一丁目」下車 徒歩1分
 - 都バス 上58番系統「団子坂下」下車 徒歩5分
 - B-ぐる千駄木・駒込ルート「18特養ホーム千駄木の郷」下車 徒歩5分
- ※一般的の駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4 TEL: 03-3824-5511
URL: <https://moriogai-kinenkan.jp>

開館時間 10:00～18:00 (最終入館は17:30)

休館日 每月第4火曜日 (祝日の場合は開館、その他例外あり)、年末年始 (12月29日～1月3日)、及び展示替期間、煙草期間等